

イベント・研修会・スポーツ・検定など

<専教振主催研修会>

○ ビジネス教育「教員と講師のための研修会」(沖縄・福島)

「全ての教育分野、全ての学校でビジネス教育を実践」を目標に例年全国各地区で開催し、今年度は全国6会場を予定している。主な内容は、企業が求める人材像についての講演、専門学校講師陣によるビジネス教育の導入事例、授業での取り組み方、ビジネス能力検定の紹介や指導がポイントとなっている。

これまでに実施された会場の研修内容は次のとおり。

沖縄会場 7月16日 沖縄県・総合福祉センター

特別講演「企業はどのような人材を求めているのか」

関岡 克巳三菱電機ビルテクノサービス(株)

事例発表①「B検合格塾！—総合力で合格を引き寄せる—」

井手 美由樹(専門学校東京メディアアカデミー、産業能率大学)

事例発表②「私が学生にB検を教える理由」

牧 一郎(中村国際ホテル専門学校)

検定受験の研究「問題作成の視点から」

山崎 厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数 60名】

福島会場 9月3日 福島県・ビックパレット福島

特別講演「企業はどのような人材を求めているのか」

内藤 清吾(株)内藤工業所

事例発表①「高等学校におけるキャリア教育の実践」

嶋原 靖伸(福島県立あさか開成高等学校)

事例発表②「やる気を引き出す検定対策」

高橋 豊(船橋情報ビジネス専門学校)

検定受験の研究「問題作成の視点から」

山崎 厚ビジネス能力検定問題作成委員会委員長

【参加数 40名】

○ 第15回「ビジネス教育指導者研修会」(8月5～7日)

今回で第15回を迎える「ビジネス教育指導者研修会」が、8月5日から7日まで、東京都・クロスウェーブ府中で開催された。参加者は19名。

この研修会は全日合宿制で、指導教案に基づく「教育実習」等の主体的学習を通じて、教員としてのあり方やスキルを練磨することにより、質の高い職業教育のできる人材の養成を目的としていることが特徴。

初日午前は、ビジネス能力検定専門委員会岩谷伸一委員長のあいさつ、梶田嘉生講師による研修会に対する心構え、アイスブレイクを兼ねた参加者自己紹介の後、グループに分かれ課題実習を行った。初日午後からの教育実習は、各参加者による18分間の模擬授業に対し、講師と受講者からの講評が10分間行われる形で行われ、2日目の夕方まで続けられた。

全員の実習が終了した後、再度グループに分かれ教育実習の振り返りが行われた。夜には懇親会が開かれ、講師と受講者が研修会の内容や日頃の職業教育などについて積極的に意見交換を行った。

最終日午前は、インターコンチネンタル東京ベイ研修担当部長立石貴子氏、有限会社プライド代表取締役岩田直樹氏を迎えた産学交流ディスカッションが開かれ、活発な討論が繰り広げられた。午後は古垣みゆき講師による「教師のあり方ー学習意欲を喚起するにはー」をテーマにグループワークが行われた後、修了式を行い閉講、解散した。

【参加校】(都道府県順)

群馬県・群馬法科ビジネス専門学校、東京都・ホスピタリティツーリズム専門学校、国際理容美容専門学校、日本工学院八王子専門学校、神奈川県・岩谷学園テクノビジネス専門学校、富山県・富山情報ビジネス専門学校、愛知県・名古屋栄養専門学校、大阪府・大阪工業技術専門学校2名、ホンダテクニカルカレッジ関西、高津理容美容専門学校、島根県・専門学校松江総合ビジネスカレッジ、岡山県・専門学校ビーマックス、高知県・高知情報ビジネス専門学校、高知開成専門学校、福岡県・専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ、麻生情報ビジネス専門学校、沖縄県・那覇日経ビジネス工学院、専門学校沖縄中央学園

○ 情報教育指導者研修会(8月27日)

今年で11年目を迎える「情報教育指導者研修会」が、8月27日東京都・アルカディア市ヶ谷で開催された。参加者は54名。

昨秋新しい学習指導要領が改訂され公開され、高等学校普通科の情報は情報ABCから「社会と情報」「情報の科学」に変わり、前半は文部科学省から担当官を招きこの2教科への取り組み方をテーマに講演を行った。

後半は昨年度に引き続き「伝える」こと「発信」することの重要性をテーマとする「情報デザイン」について、新たな評価領域の改定を踏まえ、取り組む上で必要と考えられる「身につけたい力」5項目の考え方や意義について解説を行ったほか、情報デザインを活用したさまざまな分野・

学科等での実践事例を紹介した。さらに、企業サイドからの視点でアドビシステムズ株式会社が、求められる人材像として、企業現場において必要とされる情報デザイン能力について講演を行った。

【参加校】(都道府県順)

仙台医療福祉専門学校、水戸電子専門学校、オリオンIT専門学校、秋草学園短期大学、立教新座高等学校、共栄学園短期大学、専門学校越生自動車大学校、川崎市立川越高等学校、埼玉県立所沢高等学校、専門学校ニホン国際ITカレッジ、千葉県立千葉東高等学校、敬愛学園高等学校、千葉県立船橋豊富高等学校、東京都立松原高等学校、新宿日本語学校、新宿

情報ビジネス専門学校、東京都市大学、日本学園中学・高等学校、東京心理音楽療法福祉専門学校、錦城高等学校、中央大学杉並高等学校、東京都立光丘高等学校、日本大学櫻丘高等学校、目白大学、東京都立総合工科高等学校、明星大学、創価女子短期大学、品川エトワール女子高等学校、朋優学院高等学校、愛国学園短期大学、東京都立八王子拓真高等学校、東京都立六本木高等学校、岩谷学園テクノビジネス専門学校、総合電子専門学校、新潟医療技術専門学校、丸の内ビジネス専門学校、山本学園情報文化専門学校

○ キャリア・サポート・マインド養成講座（東京・大阪）

8月17日から19日までの3日間、東京都・日本電子専門学校を会場として、専教振主催「専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座（CSM講座）」【東京会場】が開催された。本講座は、専修学校等でのキャリア・サポート＜学生生徒が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること＞を推進するために、教職員が有すべきマインド（態度や姿勢・考え方）を養成することを目的としている。

講師は、専教振認定CSMトレーナーの佐藤敏子氏（有限会社キャリアデザインオフィス代表取締役）。受講者は全国より参加した専修学校等教職員17名。

講座はカリキュラムに基づき、1日目は「若者を受け止めよう」、「仕事、キャリア、キャリア開発」、2日目は「キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル」、「自己理解の促進」、3日目は「仕事理解とキャリア・ガイダンス」、「キャリア・サポートの姿」をテーマに進められた。

また、同内容の講座【大阪会場】が8月25日から27日までの3日間、大阪府・ホスピタリティツーリズム専門学校大阪において、受講者13名を得て開催された。講師は同じくCSMトレーナーの西田君美雄氏（Office W-Planning 代表）。

両会場とも、グループワークを中心とした体験学習スタイルによって所定の全プログラムを実施し、全日程を終了した。今後、講座の修了を認められた者は、「キャリア・サポーター」として認定・登録される。

<部会・関係団体等主催>

○ 日本留学フェア（台湾・香港）（7月17～21日）

日本への留学等を希望する学生に対して現地で相談会を開催し、日本の教育機関の一般的な情報を提供する「2009日本留学フェア（台湾・香港）」が7月17日（高雄）、18日（台北）、21日（香港）で開催された。

台湾は主催が、（独）日本学生支援機構、（社）東京都専修学校各種学校協会、（財）日本語教育振興協会、全専各連。参加校は専門学校63校、日本語教育機関55校、大学等67校。高雄会場は時代会館で入場者は2,000名、台北会場は世界貿易センターで4,100名。毎年同様の時期に開催しており、台湾国内においても恒例の事業として認知されており、日本留学に対する台湾での期待の高さを証明した。

香港は主催が、（社）東京都専修学校各種学校協会、全専各連等。参加校は専門学校36校、日本語教育機関13校。香港会場は香港大学で入場者は710名。協会主催による香港におけ

る初めてのフェアとなった。予想を上回る入場者で、日本留学に関する関心の高さがうかがえた。

○ 第19回全国高等専修学校体育大会（7月27～30日）

第19回全国高等専修学校体育大会が7月27日から30日の4日間にわたり、山梨県・富士北麓公園体育館等を会場に開催された。

主催は全国高等専修学校協会、特定非営利活動法人 NPO 高等専修教育支援協会、主管は全国高等専修学校協会体育振興委員会、後援は文部科学省、山梨県他。

全国から22校、約750人の選手、役員が参加した。

団体競技種目の優勝校は次のとおり。

- ・軟式野球：千葉モードビジネス専門学校（千葉県）
- ・バレーボール男子：大和商業高等専修学校（神奈川県）
- ・バレーボール女子：大竹高等専修学校（東京都）
- ・バスケットボール男子：大和商業高等専修学校（神奈川県）
- ・バスケットボール女子：大竹高等専修学校（東京都）
- ・卓球男子：生蘭高等専修学校（神奈川県）
- ・卓球女子：郡山学院高等専修学校（福島県）
- ・陸上400mリレー男子：生蘭高等専修学校A（神奈川県）
- ・陸上400mリレー女子：近畿情報高等専修学校（大阪府）
- ・フットサル：町田調理師専門学校（東京都）
- ・自転車競技男子：中部国際自動車大学校（岐阜県）
- ・自転車競技女子：大竹高等専修学校（東京都）
- ・バドミントン男子：多摩調理製菓専門学校（東京都）
- ・バドミントン女子：町田家政福祉高等専修学校（東京都）
- ・スポーツ吹矢：大竹高等専修学校（東京都）
- ・駅伝競走男子：生蘭高等専修学校A（神奈川県）
- ・駅伝競走女子：大竹高等専修学校（東京都）

○ 第29回全日本珠算技能競技大会（7月30日）

第29回全日本珠算技能競技大会が7月30日に愛知県・名鉄犬山ホテルで開催された。

（社）全国珠算学校連盟主催。団体戦の結果は以下のとおり。

第1部（小学生の部） 優勝：宮城県、準優勝：三重県

第2部（中学生の部） 優勝：宮城県、準優勝：三重県

○ 全国美術デザイン専門学校教育振興会研修会（8月20～21日）

NPO法人全国美術デザイン専門学校教育振興会では、8月20日、21日の2日に亘って東京千代田区の九段会館で、『「色彩と表現」－色彩と表現を的確に結びつけ、理解させる教育方法を研修、さらに検定対策教育の重要性もあわせて研修する－』をテーマに教員研修会を開催した。参加者は30名。

ADEC会員校を含め広く美術デザイン専門学校関係者等に案内し、今回も多数の参加を得ることができた。

今年度の研修テーマは、色彩を理解させることによって造形・創作教育にいかにより重要な意味を持つかを再認識し、その理解度の証としての検定の重要性を、指導者側が認識し受験推進することにより学生にとっての職業選択の有利さをも再確認するものとなった。さらにコンピュータを表現素材として授業に対応する必要性のある現在、コンピュータソフトの教材と色彩教育の対応についても学び、これからの授業構成に大きな参考となることを目的とした。

専門学校の活性強化のため高校生が望む新しい教育カリキュラムを展開するにあたり、より実践的な実技指導方法とコンピュータソフト教材等の学習をし、活発な意見交換等も行われ、実り多い研修会となった。